

大地震の惨禍、傷跡深く。



2

①日本三大楼門にも数えられる阿蘇神社の楼門や拝殿などが崩壊。訪れた人は皆、言葉を失った ②4月16日未明の“本震”直後、市役所玄関前で情報収集に当たった ③草千里展望所付近の道路は原形をとどめないほど崩壊した ④国の名勝及び天然記念物に指定される米塚は、各所で亀裂が入った

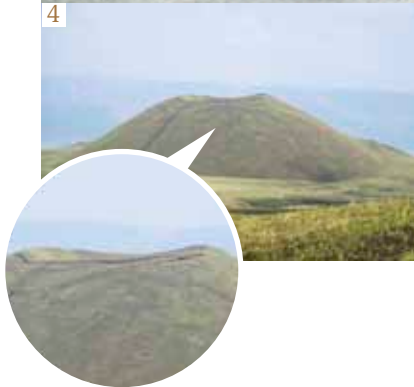


9

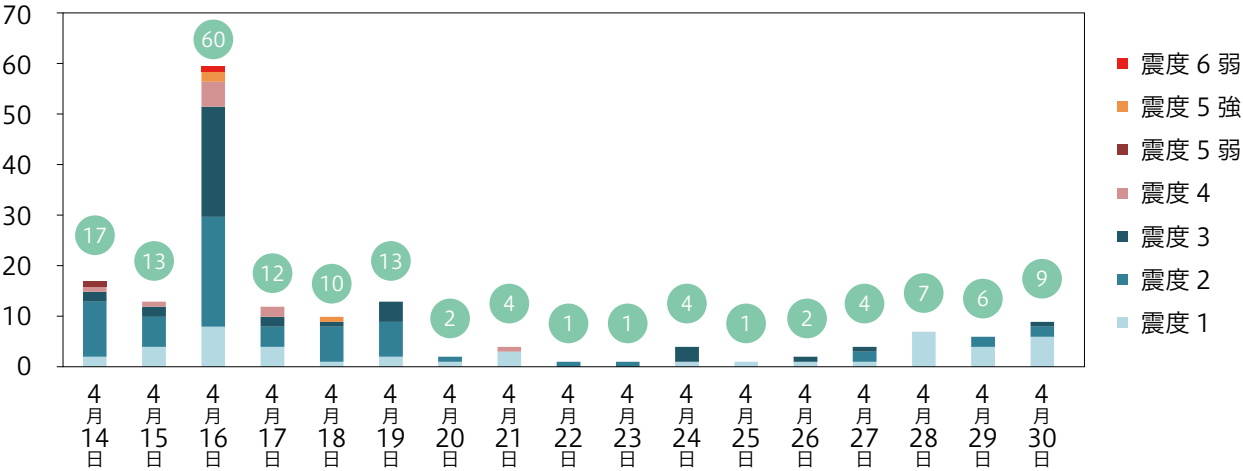
4月14日夜に熊本地方を震源とするマグニチュード6.5の地震が発生、丸一日経った16日の未明には、震度6弱という誰もが経験したことがないような激しい揺れが阿蘇市を襲いました。停電で真っ暗闇の中、市民が広い場所に一斉に避難。激しい揺れを伴う余震で恐怖に震える中、夜が明けると地震の凄まじさを物語る被害の全容が明らかになりました。



- ⑤波野小園地区では直径1mを超える岩石が道路に落下
- ⑥赤水駅付近を回送中だった電車は、レールが曲がり脱線した
- ⑦⑧内牧停車場線の狩尾付近や阿蘇西小学校の北側では大規模な断層のずれが地表まで到達。家屋や道路、田畑などにも被害が及んだ
- ⑨湯浦や狩尾をはじめとした北外輪山では各所で土砂崩れが発生。人家には及ばなかったものの、避難指示などを発令し注意を促した



● 4 月 14 日～ 30 日までに阿蘇市で発生した震度 1 以上の地震回数





①③断層と思われる地表のずれが発生。狩尾や跡ヶ瀬など多くの農地で確認された ②内牧温泉街のホテルの一つ。同温泉街では建物の損傷のほか温泉が出ないなどの被害。一方で一部の施設を除き宿泊客の受け入れを早期に再開し、市外からの作業員など支援者を受け入れた

被害状況

基幹産業打撃 早期の復旧、復興を目指して。

今回の地震では、農地などに断層と思われる亀裂や牧野のひび割れが多数確認されており、5月2日時点での農業被害額は約106億1千万円と推定されています。また、観光業では、阿蘇山上への道路が寸断され、火口周辺施設への立ち入りができないほか、内牧温泉街の旅館などでは一部で温泉がでないなどの被害が出ており、いずれも早期の復旧、復興が急がれます。

時系列で振り返る平成28年熊本地震阿蘇市の動き

- | | |
|---|--|
| <p>4月18日</p> <p>21時30分…大雨警報発表(暴風警報継続)</p> <p>12時00分…二重峠から大津町までの迂回路が通行可能に</p> <p>20時41分…阿蘇市で震度5強の地震</p> <p>23時15分…西小園ほか3地区に避難指示</p> | <p>4月14日</p> <p>21時26分…熊本地方を震源とする最大震度7の地震発生(阿蘇市で震度5弱)</p> <p>21時45分…阿蘇市災害対策本部を設置</p> <p>4月16日</p> <p>1時25分…阿蘇市で震度6弱を記録</p> <p>3時03分…阿蘇市で震度5強を記録</p> <p>3時40分…自衛隊派遣要請</p> <p>3時55分…阿蘇市で震度5強を記録</p> <p>4時00分…熊本県に先遣隊の派遣要請</p> <p>4時50分…市内各所から被害報告続々</p> <p>5時39分…大津営業所からの送電で7600戸が停電との報告</p> <p>14時46分…狩尾1〜3区ほか5地区に避難勧告</p> <p>15時30分…小池ほか5地区に避難勧告</p> <p>19時15分…古城全域ほか11地区に避難勧告</p> |
|---|--|



5 4



6

- ④北外輪山のビュースポットとして知られる兜岩展望所は山肌に多数の亀裂が入り、東屋なども倒壊した
- ⑤跡ヶ瀬にあるカントリーエレベーター北側や阿蘇西小学校北側の農道、田んぼにも断層と思われる地表のずれが発生。田植えができず復旧の見込みが立たず被害は深刻
- ⑥近年秘かな人気を集めていた“ラピュタの道”(狩尾幹線道路)は各所で道路が崩壊、山肌が露出し景観が損なわれた

4月19日

9時00分…市内4カ所に災害ごみ仮置場を開設

4月20日

19時00分…発電機車により市内全域で停電解消

4月21日

8時01分…大雨警報発表。各地域に避難勧告

4月22日

12時00分…ミルクロード全線開通

4月25日

一部を除き保育園・幼稚園が再開
熊本地震の激甚災害指定を閣議決定

4月26日

9時00分…阿蘇市災害ボランティアセンターを開設。初日は約80名のボランティアが活動

4月27日

市などへの送電線の仮復旧作業が完了。翌28日に市内全域に送電を開始。
波野小・中学校が再開

4月28日

15時00分…市内の一部に発令されていた避難勧告を全て解除。